

事業協働機関：長野県、富山県、石川県、(株)タッチポイント、(株)リンクアンドモチベーション、合同会社RBX、100年企業創出プログラムコンソーシアム（代表：NPO法人SCOP）  
長野県経営者協会、長野県中小企業家同友会、北陸経済連合会



地域創生にむけた4つの重点テーマ

交通 × 観光 × 食 × インフラ

地方創生の原動力「ENGINE」（交流・移動・体験）を再定義し、地域産業構造を創新する人材の育成が必要

地域が求める人材像（3つの能力）

- 1 データ・オリエンテッド&ハート・ドリブン型地域マネジメント力
- 2 時代の変化をしなやかに捉え社会に関わり続ける力
- 3 未来社会を見据えた創造性溢れる突破力

3大学連携 ENGINE 教育プログラム

3 3 県域横断 / 乗入型の PBL 型インターンシップ

3大学地域横断によるPBL型インターンシップを実施。首都圏人材と協働するなど、出口企業課題解決に取り組み、企業の真(新)の魅力発見に取り組み。

2 広域型キャリア形成プラットフォームの構築

広域的なキャリア・イベント(大しごと一く)や3地域を繋いでいく「しごと一く」を開催。企業と協働し、学生のキャリア形成機会の拡大を図る。

1 Online を活用した学際的なリテラシー教育

データサイエンスを中心としたカリキュラムの相互受講を含め、多様なリテラシー教育を実施。オンライン教育手法を駆使し、全国で活躍する人材による授業も実施。

教育機関

3大学の特徴を組み合わせることで地域のニーズに対応した教育プログラムをデザイン

「地域貢献度 No.1」など産学地域連携に強みがある「信州大学」  
データ・サイエンスで北陸地域をリードする「富山大学」  
グローバル人材を育成するための KUGS を掲げる「金沢大学」



サーティフィケートの発行

企業目線での学生能力を評価  
▶ENGINEプログラムの『質の保証』に繋げる

出口企業

協働して地域企業課題解決に取り組み

学生 首都圏人材

プログラム目標

地元就職者数	4名	↑	35名
	R5		R6
地元定着者数	4名	↑	70名
	R6		R8
定着率	40%	↑	50%
	R6		R7~

地域企業（出口企業）

100年企業創出PRGM

企業課題解決型インターンシッププログラムの実施

首都圏人材を活用した地域企業課題解決プログラム（リカレント教育）

留学生地域定着・海外連携

人材開発企業

ENGINE 教育プログラムの基盤を人材開発の視点からサポート

能力評価

メンタリング





# ENGINE - 円陣 - プログラム推進コンソーシアム

## 外部評価委員会

構成メンバー（案）

- 他地域経営者団体 ○大学関係者
- 関連学協会 ○他地域地方公共団体

- ・評価の客観性の確保
  - ・事業の加速的発展（アップデート）に向けた提言
  - ・外部連携
- などについて、提言や意見交換を行う。

## 【外部連携組織】

首都圏人材循環促進事業

## 100年企業創プログラム コンソーシアム

合同会社 RBX、(株)松本山雅、NPO 法人 SCOP

- ・リカレント教育プログラム
- ・インターンシッププログラム実施
- ・地域企業魅力向上などにおける実施協力体制の構築

- 信州大学、富山大学、金沢大学
- 長野県、富山県、石川県
- 各地域経営者団体

長野県経営者協会、長野県中小起業家同友会  
北陸経済連合会 等

## プログラム推進のための協議の場【座長：信州大学 学長】

- ・地域の課題、ニーズの集約
- ・地域経済状況の把握
- ・大学 - 企業 - 地方公共団体の対話の場
- ・プログラム KPI の検証と目標設定
- ・ENGINE プログラムサーティフィケートの発行
- ・広域型キャリア形成プラットフォームの構築

各地域のプログラムの進捗状況を適切 / 迅速に把握するために、各地域単位でワーキンググループを置き、実務担当者レベルでの協議を行う。

## ENGINE 教育プログラム 開発委員会

「産」と「学」が一体となった  
人材育成プログラムの構築

- 信州大学、富山大学、金沢大学
- 地方公共団体
- インターンシップ受け入れ企業
- 組織 / 人材開発系会社  
(株)リンクアンドモチベーションなど
- 大企業人事部

- ・ENGINE 人材能力指標の策定
- ・能力評価ルーブリック開発 / 評価
- ・出口一体型インターンプログラム開発 / 評価  
大都市圏企業とも、社会全体に通用する能力（コアコンピテンス）評価手法やインターンシッププログラムを開発 / 評価について意見交換を行う。
- ・プログラム修了生との意見交換の場を形成



## ENGINE プログラム 推進コンソーシアム石川 WG

ワーキンググループ構成メンバー

各地域大学、各地方公共団体、各県の経営者団体、各県の企業、および、各地域インターンプログラム実施企業  
地域金融機関、地域メディア、その他、各大学の同窓会や保護者会など。

（随時メンバーを調整しながら部会作業を実施）

## ENGINE プログラム 推進コンソーシアム富山 WG

## ENGINE プログラム 推進コンソーシアム長野 WG



## ENGINE プログラム 同窓会組織『円陣』

構成メンバー

プログラム修了生 / 受講生

- ・修了生と受講生との対話の場
- ・修了生同士での地方創生に関する意見交換
- ・修了生就職先企業間の協業を創出  
→ 地域企業の魅力向上へ

## 各地域での ENGINE プログラム推進のための協議の場【座長：各地域大学 事業責任 / 担当者】

→ 教育プログラム開発委員会とも連携を取りながら、以下の役割を果たす。

- ・地域企業の魅力向上のための課題やニーズの集約など、セクターを越えた対話の場の形成
- ・地域経済状況の把握
- ・大卒新卒者状況の把握
- ・インターンシッププログラムの状況の把握
- ・インターン受け入れ企業および学生満足度調査の実施
- ・コストシェアのための協力体制の構築

## ● 各セクターの役割

大学

ENGINEプログラムを通し、優秀かつチャレンジ精神が旺盛な学生に対し、地域経済を支えていくためのトップ・リーダーとして活躍するための教育を行う。  
学生の地域定着率向上を目指し、地域企業の魅力向上にむけた企業人のリカレント教育も担う。  
人財と地域経済の好循環を生み出していくことに注力する。

産業界

インターンシップの受け入れと、そのための自社の社会人（教育）研修に力を入れる。また、キャリアイベントへの参画など、地域の中で生きる企業としての魅力を学生に語り、就業先としてのマッチングを図る。

地方公共団体

インターンシップなど、ENGINEプログラム実施の地域での受け入れ体制 / 環境を構築し、そのために必要な制度設計を行う。また、助成制度の情報共有など、県内定着率への支援を行う。

## インターンシップ受入候補企業：

東日本旅客鉄道(株)、中日本高速道路(株)、WILLER(株)、しなの鉄道(株)、あいの風とやま鉄道(株)、IRいしかわ鉄道(株)、富山地方鉄道(株)、北陸鉄道(株)  
立山黒部観光(株)、(株)加賀屋、(一社)長野県観光機構、(公社)やま観光推進機構、(公社)石川県観光連盟、(株)松本山雅、(株)星野リゾート、(株)ゴールドウィン  
(株)サンクゼール、伊那食品(株)、ハナマルキ(株)、(株)八幡屋磯五郎、JA長野、(株)スギヨ、丸紅(株)、KDDI(株)、三共立山(株)、YKK AP(株)、(株)小松製作所、セイコーエプソン(株)、  
地方公共団体(長野県、富山県、石川県)、生活協同組合CO-OP、(株)八十二銀行、(株)北陸銀行、(株)北國銀行、信濃毎日新聞(株)、(株)北日本新聞、(株)北國新聞、他 地域中小企業

## 幹事校機能での連携体制

全国の事業実施校  
と連携



大学ジャーナル  
UNIVERSITY JOURNAL  
ONLINE

TouchPoint

株式会社 タッチポイント



アカデミアとも連携  
し形式知化すること  
で、教育プログラムの  
横展開を図る。

- ・全国シンポジウムの開催  
→ オンライン型での実施
- ・各地域での地域創生人材育成事業成果の集約  
→ 事例集（教育プログラム内容と就業先開拓）の作成

- ・情報発信  
ポータルサイトの運用  
SNS での情報発信（プッシュ型）  
プログラム実施校への取材（事例調査）  
プログラム特集サイトの設置

- ・学術的広報  
学協会（地域活性化学会、産学連携学会など）と連携し、取り組み成果を学術論文等で発表。  
→ アカデミアと連携することにより、地域創生人材育成手法の形式知化。教員 FD としても活用。  
→ 形式知化することで、プログラムの横展開を可能に。